

2023年度 経営学部セミナー 実施報告

経営学部 研究推進委員会

2023年度経営学部セミナーでは次の研究報告等（7件）がなされたことを報告します。

1. 2023年度 第1回 経営学部セミナー

自らキャリアを切り拓く「自分ブランド」の見つけ方

特定非営利法人ブランディングポート 代表理事 安藤 奏 先生

日時：2023年5月27日（土曜日） 11時～12時30分

場所：文教大学 東京あだちキャンパス 2302教室

内容：安藤奏先生をお招きし、「自らキャリアを切り拓く「自分ブランド」の見つけ方」と題しご講演をいただきました。安藤先生は、大手上場企業における現場及び人事経験を経て独立し、株式会社と非営利法人を起業したキャリアをお持ちです。その特徴的なキャリアを踏まえ、「自分ブランド」の確立に焦点を当てた話が展開されました。まず、これからのキャリア形成の鍵は、「アイデンティティ（自分らしくあること）」と「アダプタビリティ（変化を活かす力）」の2つ。そして、自分ブランドを確立するためには、強みと情熱の「種」を見つけ（＝自己認識）、「水」を与えること（＝投資行動）が大切だと、熱を込めてご説明くださいました。Q & Aセッションでは、9名の学生から積極的な質問が行われ、安藤先生のご見解からさらに多くの学びにつながりました。なお、参加者は、学生約100名、教員1名でした。

2. 2023年度 第2回 経営学部セミナー

経験はすべて宝になる

EY 新日本有限責任監査法人 第3事業部マネージャー/公認会計士 中村 友美 先生

日時：2023年7月22日（土曜日） 11時～12時30分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2302教室

内容：中村友美先生をお招きし、「経験はすべて宝になる」と題しご講演をいただきました。中村先生は、「大学生時代に公認会計士試験の勉強を始めたこと」、「一般企業の就職活動を行ったこと」、「上場会社で経理実務を経験したこと」、「監査トレーニーとして働くチャンスを得られたこと」、「公認会計士試験に合格することができたこと」といったすべての経験が、まさに今、自分自身の宝になっているという自らのストーリーに焦点を当て、学生一人一人に語りかけてくれました。多くの経験（失敗）が、自分自身の価値観や物事の捉え方をネガティブ思考からポジティブ思考に切り替えるきっかけ（気づき）となり、これまでの経験すべてが心から意味のあるものだったと、笑顔でご説明くださる姿が印象的でした。Q & Aセッションでは、8名の学生から積極的な質問が行われ、中村先生のご見解からさらに多くの学びにつながりました。なお、参加者は、学生約100名、教員1名でした。

3. 2023年度 第3回 経営学部セミナー

コロナ禍における在マレーシア日系企業に対する予算管理の双方向型利用

文教大学 経営学部 上山 晋平 先生

日時：2023年9月27日（水曜日） 15時30分～16時50分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 3302教室

内容：上山晋平先生をお迎えし、「コロナ禍における在マレーシア日系企業に対する予算管理の双方向型利用」と題しご講演をいただきました。ご講演は、マネジメント・コントロール・システムの利用スタイルとして診断型と双方向型があるとの背景の説明から、コロナ禍では予算管理スタイルが双方向型で行われる傾向があったのではとの推測が紹介されました。その観点から、取り組むべき研究課題が示され、その実証を効果的に行う在マレーシア日系企業への調査を通じた研究手法とその主な結果がデータとともに示されました。予算管理スタイルの変容をデータから明らかにする研究の面白さがストレートに伝わってくる刺激の多いセミナーとなりました。その刺激が引き金となりその後のディスカッションでは、親会社との関係性や通信手段の変容との関係についてのアイデアなどが提示され活発な意見交換がなされました。なお、参加者は5名（教員5名）でした。

4. 2023年度 第4回 経営学部セミナー

変化を恐れずに進もう

大手監査法人 公認会計士 細田 詩穂 先生

日時：2023年11月25日（土曜日） 10時50分～12時20分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 2302教室

内容：細田詩穂先生をお招きし、「変化を恐れずに進もう」との題目でご講演をいただきました。細田先生のご講演は、ご自身の大学生生活、公認会計士として働くこと、人を育てること、という3つのテーマで構成されました。細田先生は講演の目的について、「人生の様々なタイミングで、環境の変化、心境の変化といった場面は沢山訪れます。戸惑うこともありますが、その変化を楽しみながら、挑戦し続けることの大切さをお伝えしたい」と、おっしゃいました。プロフェッショナルになること（強みをもつこと）や、働きながら子供を育てるというお話は、細田先生ならではの切り口であり、笑顔を交えながらフランクにご説明くださる姿が印象的でした。Q & Aセッションでは、10名の学生から積極的な質問が行われ、質問に対する細田先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約100名、教員1名でした。

5. 2023年度 第5回 経営学部セミナー

山形県最上町の活性化の実証研究

文教大学 経営学部 鈴木 誠 先生

日時：2023年11月29日（水曜日） 15時30分～16時45分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 3302教室

内容：鈴木誠先生をお迎えし、「山形県最上町の活性化の実証研究」と題しご講演をいただきました。ご講演は、鈴木誠先生が2015年ごろから携わり活動を進めている『最上プロジェクト』の紹介に始まり、過疎化が進む山形県最上地区のリバイバルを図るために資する様々な経済学の視点からのデータ分析結果から現状の課題が整理され示されました。その分析から付加価値をより多く生み出すための最上地区での農業展開戦略、それを支える人材確保のアイデアなどが示され、さらに、その実現に向け進行している様々な取り組みが報告されました。データ分析から課題に切り込み、それを問題解決に実際に繋げている研究活動の面白さが伝わってくる刺激の多いセミナーとなりました。その刺激が引き金となりその後のディスカッションでは、農業法人の枠組み利用の難しさや首都圏シニア層とのマッチングの工夫など活発な意見交換がなされました。なお、参加者は7名（教員4名、学生3名）でした。

6. 2023年度 第6回 経営学部セミナー

サステナブルなキャリア論 ―総合商社の経理として働いて学んだこと―

住友商事株式会社 資源・化学品経理部 部長付 富高 幸祐 先生

日時：2023年12月9日（土曜日） 10時50分～12時20分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 1304教室

内容：富高先生をお招きし、「サステナブルなキャリア論 ―総合商社の経理として働いて学んだこと―」と題しご講演をいただきました。富高先生のご講演は、ご自身の経験を振り返るストーリー・パートと、経験から得た教訓を共有するメッセージ・パートで構成されました。ストーリー・パートでは、ご自身の大学生活の振り返りからはじまり、総合商社への入社、3年間のロシア駐在経験、現在従事している経理実務の経験をお話下さいました。学生へのメッセージは、「サステナブル（持続可能）な生き方のすすめ」と「スキルを掛け合わせることの強み」でした。富高先生は、一例として、就職活動時に財務情報と非財務情報を組み合わせてサステナブルな企業かどうかを自身で判断すること、そのための知識や素養を大学生のうちに（できれば複数）身に着けておくことの大切さを教えて下さいました。Q & Aセッションでは、6名の学生から質問が行われ、質問に対する富高先生のご見解を共有いただきました。なお、参加者は、経営学部学生約100名、教員2名でした。

7. 2023年度 第7回 経営学部セミナー

近年のリスク管理概論

外資系コンサルティングファーム パートナー 田中 玲 先生

日時：2023年12月20日（水曜日） 15時30分～16時30分

会場：文教大学 東京あだちキャンパス 3302教室

内容：講師に田中玲先生をお迎えし、「近年のリスク管理概論」と題しご講演をいただきました。ご講演は、経営課題のテーマとして注目されつつある「リスク・コンプライアンス」が紹介され、そのテーマの基盤となる経営におけるリスクとは、なぜリスク管理が重要か、そして、そのリスク管理を実行する基本構造について順にわかりやすく紹介されました。具体的にリスクに直面した事例を引きながら、リスクをどうコントロールするかを考える実務上の重要性和学問的な面白さが伝わってくる刺激の多いセミナーとなりました。その刺激が引き金となりその後のディスカッションでは、グローバルな企業でのリスクに対する認識の差異への対処についてや、情報格差の縮小から生じるリスク自体の変化など活発な意見交換がなされました。なお、参加者は8名（教員3名、学生5名）でした。